

令和7年度地域振興基金を活用した区民活動助成事業一覧

1. 申請件数 6件

2. 審査結果 6件

…チャレンジ助成2事業、スタートアップ助成2事業、トライ助成2事業

	事業名	申請団体	助成額 (総事業費)
1	【チャレンジ助成 1年目】 区内で活動する「子どもにかかわるボランティア」の育成と活動支援	(特非) ふれあいの家-おばちゃんち (共同代表理事: 駒崎 圭子、 清水 美恵)	425,000 円 (864,660 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③効果>] ① 子育てする保護者が孤立せずに子どもが安心して育つ環境を実現するために、地域で子育て世帯を支えるボランティアの担い手を増やす。 ② 子どもにかかわるボランティア活動を行うにあたっての基礎的な講座に加え、地域の子育てネットワークと連携し、実践の場を提供するなど継続的な伴走支援も行う。 ③ ボランティアに関心のある人が活動を始めやすい仕組みを作ることで、地域や子どもに関わる人材を増やす。			
2	【チャレンジ助成 2年目】 ペット同行避難体験・人とペットの防災 展示体験イベントによる防災意識向上	しにやねこっ。の会 (代表: 西田 里佳)	352,000 円 (761,837 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③効果>] ① 災害時に人とペットと一緒に避難できるようペット飼育者の防災意識を高め、日ごろから災害に備えることを促す機会とする。 ② 人とペットの防災基礎を学ぶ災害対策セミナー、実物の備蓄品や持ち出し品などの防災体験展示、ペット同行での避難体験を実施する。 ③ ペット飼育者の災害への備えや防災意識の向上に寄与する。			
3	【スタートアップ助成 2年目】 やしお森っこ／未就園児親子の森の居場 所事業	やしおぼーず (代表: 宮里 耕太)	300,000 円 (400,968 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③効果>] ① 八潮住民に関わってもらう活動を充実させ、子育て世帯を中心とした多世代交流を促進する。 ② 未就園児の親子を対象に、月2回緑豊かな八潮で緑道周辺の散策や自然遊びと、親向けに手仕事(ものづくり体験)を行う。 ③ 子どもを中心とした新たなコミュニティの形成により、多世代交流の機会創出やまちづくり人材発掘の機会となる。			
4	【スタートアップ助成 3年目】 みんなはどうしているの?～膠原病の交 流会	(特非) 膠原病・リウマチ・血管 炎サポートネットワーク (代表理事: 大河内 範子)	300,000 円 (651,952 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③効果>] ① 膠原病関連疾患は希少疾患のため、他の患者と出会う機会が少なく孤独感を持ちながら生活している。患者同士やその家族が安心して交流できる場を提供する。 ② 患者同士で体験を語り合い、客観的でより正しい情報を得られる交流会を年3回行う。 ③ 患者や家族の孤独感や不安感を軽減させ、症状のコントロールを高める機会となる。			

5	【トライ助成 1年目】 テーマ：困難や生きづらさを抱える人たちを地域で支えるコミュニティづくり エンタメを活用した交流の場づくり事業	(一社)エムむすび (代表理事：徳村 幸子)	1,940,000 円 (2,136,685 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③効果>] ① 様々な理由で孤立を感じている方を中心に交流できる場の運営により、地域との接点を生み出し、必要に応じて適切な支援にもつなげる機会を創出する。 ② エンタメを活用した交流の場として、誰でも気軽に立ち寄れる月2回のラウンジ運営、月1回の講座、年1回のイベントを実施する。 ③ 地域との接点が生まれることで様々な理由から孤立を感じる人が減少し、地域とのつながりを持つ住民が増え、多様な地域コミュニティの創出につながる。			
6	【トライ助成 2年目】 テーマ：地域団体への ICT 支援に関する取り組み 地域団体デジタルサポーター育成事業	(一社)モノづくり X プログラミング for Shinagawa (代表理事：杉本 将輝)	2,402,000 円 (4,644,920 円)
[事業概要<①目的 ②事業内容 ③効果>] ① デジタル活用が積極的に推進される一方で、スキルやノウハウを持つ・持たないの情報格差が課題となっている。区のデジタルリテラシー向上をめざす。 ② 地域のデジタル支援に関心のある住民を「デジタルサポーター」として育成し、デジタル機器活用に不慣れな地域団体のデジタル支援の仕組み作りを行う。 ③ デジタルサポーターのスキルが向上し、地域団体が抱えるデジタル課題の解消に寄与する。			
合計			5,719,000 円 (9,461,022 円)